

# 那覇港

## 那覇港管理組合

〒900-0035 那覇市通堂町2-1

☎098-868-4544

URL : <https://nahaport.jp/>



## 1. 概況

### 〈自然条件〉

那覇港は、沖縄本島南西部に位置し、港湾区域は南北約8kmで那覇市と浦添市の行政区域に跨っている。気候は暖かい黒潮の影響を受け、亜熱帯海洋性気候に属している。その特徴として一年を通じて気候の変化は少なく、年平均気温23℃、真冬でも10℃前後と一年中温暖な気候で、降雨量は全国に比べて多く、年間降水量平均は2,161.0mmとなっている。冬から春にかけて北ないし北北東の季節風(11月～3月)が、夏は南東の季節風が卓越する。また、台風の主要経路にあたっており、夏から秋にかけて年平均7個沖繩付近を通過するが、そのうち沖縄本島に襲撃するのは3～4個程度である。

那覇港の地質は、上位から沖積層(海浜砂礫)、洪積層(琉球石灰岩)及び第三紀層(島尻層)から成り立っている。

沖積層は、層厚は10～15m程度で、細粒分を20%程度及びサンゴ礫(フィンガーコーラル)を混入するシルト質砂礫でN値が小さく軟弱な地盤を成す。

洪積層は、層厚10m前後で、サンゴ、有孔虫、溶解結晶が進んだ塊状～岸塊状石灰岩を含むシルト混じり砂礫層であり、N値10～30の比較的締まった層である。

島尻層は、シルト岩、砂岩で成り立っており、N値も50以上で、基盤層を成している。

潮流は、上げ潮時には北東流、下げ潮時には南西流が卓越する。流速は沖合部が大きく30～50cm/s、沿岸部で10～20cm/s程度である。

### 〈歴史〉

那覇港の歴史は古く、その地理的状況から15世紀の琉球王朝時代より中国、朝鮮、その他南方諸国及び日本本土との貿易の拠点として発展してきた。港湾としての施設整備が具体的に始まったのは明治40年からで、その後拡張工事が施工され戦前は4,500トン級船舶1隻、2,000トン級3隻が接岸できるにすぎなかったが、戦後米軍に接収されて大幅な改修工事が施工され、那覇港は2万トン級の大型船が、また泊港は3,000トン級船舶が係留できるようになった。

昭和29年6月に那覇港の一部(北岸)が当時の琉球政府に、また同年11月には泊港が那覇市に返還され、それぞれの管理により運営を行ってきた。

昭和47年5月14日、琉球政府の管理にあった那覇(商)港が那覇市に移管され、那覇港、泊港、新港の3港を那覇市が

一元的に管理を行った。さらに同年5月15日には重要港湾の指定を受けた。

その後、さらなる那覇港の開発発展と利用の促進を図るとともに、適正で効率的な管理運営を行うことを目的に平成14年4月1日に沖縄県、那覇市、浦添市を構成団体とした一部事務組合、那覇港管理組合が設立され、那覇港の管理運営を行っている。

平成15年3月には国際流通港湾機能の充実、国際観光・リゾート産業の振興、環境の保全と創出等を展開することを目的とした港湾計画の改定が行われ、その後、平成17年12月には大型旅客船の利用に対応するため、旅客船岸壁の整備を位置付ける港湾計画の変更を行い、平成22年3月には自然海浜及び干潟の保全に対する要請に対応するため、マリーナ計画や環境整備施設計画等の変更を行っている。平成24年7月に、交通量増加に対応するとともに、ふ頭間の円滑な交通を確保するため、臨港交通施設計画及び土地利用計画を変更、平成25年9月には、那覇空港における将来需要に対応するための第二滑走路沖合増設に伴い、連絡誘導路の一部が那覇港港湾区域内に計画されているため、那覇ふ頭地区において、土地利用計画及び土地造成計画の変更、平成28年11月には、クルーズ需要の増大に対応するため、旅客船ふ頭計画の変更を行っている。

令和5年3月には、沖縄の自立型経済の構築に向けて、国内外航路網充実や物流効率化等による県内企業の国際競争力強化、観光の高付加価値化と域内需要の活性化に資する多様なクルーズ誘致と交流・賑わいを生む面的開発、交流・賑わい機能と物流・商流との連携によって県産品の輸出促進や流通加工等を臨空・臨港型産業の集積等によって貢献を図ることを目的とした港湾計画の改定が行われた。

### 〈港勢〉

那覇港は沖縄県の玄関口として外貿7航路、内貿29航路(令和7年4月時点)をもち、40以上の島々の活動を支えている。

那覇港は、那覇ふ頭地区、泊ふ頭地区、新港ふ頭地区、そして浦添ふ頭地区の4つの地区に分けられている。主な各ふ頭の役割は次のとおりである。

- ・那覇ふ頭(最大水深-9.0m)  
鹿兒島へのフェリー
- ・泊ふ頭(最大水深-9.0m)  
周辺離島へのフェリー、旅客船及び観光船

・新港ふ頭（最大水深-15.0m）  
国際コンテナ船、本土へのフェリー、RORO船、旅客船

・浦添ふ頭（最大水深-9.0m）

本土へのRORO船

令和5年に那覇港に入港した船舶数は7,789隻（33,411,143総トン）となっている。船舶乗降人員は867,776人で、内外航別にみると65.8%が内航路であり、そのうち県内航路が90.9%を占めている。

令和5年の外国航路による船舶乗降人員数は、296,661人で、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年2月以降、クルーズ船の寄港が途絶えていたが、令和5年3月より再開された。

また、港湾取扱貨物量は1,877万トンで、これを内外貿易にみると93.8%が内貿、出入別にみると輸移出が50.8%を占めている。そのうち、コンテナ貨物は全貨物量の約24.6%を占めている。令和5年2月から、新港ふ頭地区内の第2クルーズバースで岸壁の供用開始が行われている。

#### 〈観光・リゾート産業の振興〉

那覇港は東京、名古屋、大阪及び博多等、日本の主要都市を中心に国内各地を結ぶ航路網を有している。さらに隣接する那覇空港は、日本最大のマリリゾート・沖縄の空の玄関として、令和7年現在、1日35便の東京をはじめ国内34都市及びソウル、釜山、北京、上海、福州、台北、高雄、台中、香港、バンコク、クアラルンプール、シンガポール等の海外121市と充実したネットワークで結ばれている。

また、那覇港と那覇空港を結ぶ「那覇うみぞらトンネル」の開通によるアクセス性と那覇港総合物流センターの開業により、海上貨物と航空貨物とのSea&Airによる連携促進が期待される。

#### 〈那覇港公共国際コンテナターミナルプロジェクト〉

那覇港は、東アジアの中心に位置する優位性を活かし、著

しい経済成長を続けるアジアの成長と活力を取り込み、東アジアの中継拠点港（サブハブ）としての展開を目指している。

そのため、2006年1月1日、構造特区制度を活用した特定埠頭運営効率化推進事業として、完全民間企業となる那覇国際コンテナターミナル株式会社による新港ふ頭地区の9号及び10号コンテナターミナルを一体とした那覇港公共国際コンテナターミナル運営事業を開始し、その後の港湾法改正を受け現在では行政財産の貸付による特定埠頭運営事業として事業を継続している。

2016年1月1日からは、国内有数の総合物流企業である三井倉庫株式会社が中核企業として経営に参入しており、新中核企業のこれまで培ってきた豊富な経験・人材と海外ネットワークを最大限活用することで、那覇港における国際競争力の向上を図り、外貿航路の新規誘致促進など、新たな貨物獲得や貨物増加に向けた取り組みを強化している。

#### 〈那覇港総合物流センター整備事業〉

那覇港公共国際コンテナターミナルと内貿岸壁との中間の位置には約13haの港湾関連用地があり、那覇港管理組合は、この用地の一部を活用し、国内外貨物の物流拠点の形成及び国際流通港湾としての機能拡充を目的とした総合物流センターの整備を進めている。

第1期事業は、港湾関連用地のうち約2.6haを活用し、那覇港管理組合が施設整備を行い、民間事業者が管理・運営を行う公設民営型のPFI事業を採用した。平成25年から施設整備事業を行い、令和元年5月、物流事業者らからなる特別目的会社を運営事業者として選定し施設開業しており、開業時点で定めた事業計画では令和10年度には131,936フレートトンの貨物を取り扱うとしている。

那覇港管理組合では民設民営型のPFI事業として第2期の総合物流センターの整備運営事業の取組に着手し、引き続き、更なる機能拡充に向け取り組んでいる。

## 2. 港勢

## 入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	500	13,931,848	141	10,829,958	112	1,375,600	140	1,360,376
内航商船	6,005	16,801,557	1	50,444	734	8,471,338	526	4,657,861
自航	877	2,423,727			1	13,038	173	1,397,391
その他	407	254,011					6	41,367
合計	7,789	33,411,143	142	10,880,402	847	9,859,976	845	7,456,995

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	52	276,507	54	89,085			1	322
内航商船	112	648,553	1,021	1,411,354	1,350	970,855	2,261	591,152
自航	85	502,350	294	349,272			324	161,676
その他	9	39,401	54	86,141	56	41,103	282	45,999
合計	258	1,466,811	1,423	1,935,852	1,406	1,011,958	2,868	799,149

最大入港船舶のトン数 171,598総トン(喫水 8.75m)

## 海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	454,207	100	722	0.2	73	0.0			175,534	38.6
輸入	704,091	100	127,729	18.1	4,748	0.7	10,514	1.5	68,044	9.7
計	1,158,298	100	128,451	11.1	4,821	0.4	10,514	0.9	243,578	21.0
移出	8,752,902	100	76,657	0.9	18,944	0.2	3,576	0.0	7,745,174	88.5
移入	8,154,372	100	273,812	3.4	37,155	0.5	25,642	0.3	2,970,935	36.4
計	16,907,274	100	350,469	2.1	56,099	0.3	29,218	0.2	10,716,109	63.4
合計	18,065,572	100	478,920	2.7	60,920	0.3	39,732	0.2	10,959,687	60.7

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	1,607	0.4	9,841	2.2	2,540	0.6	263,890	58.1		
輸入	36,086	5.1	107,906	15.3	119,949	17.0	229,115	32.5		
計	37,693	3.3	117,747	10.2	122,489	10.6	493,005	42.6		
移出	73,389	0.8	150,590	1.7	23,758	0.3	660,788	7.5	26	0.0
移入	774,675	9.5	1,444,352	17.7	208,599	2.6	2,419,202	29.7		
計	848,064	5.0	1,594,942	9.4	232,357	1.4	3,079,990	18.2	26	0.0
合計	885,757	4.9	1,712,689	9.5	354,846	2.0	3,572,995	19.8	26	0.0

太字は自動車航走船取扱貨物(外数)で、計及び合計に含まない

## 外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	276,858	15,458	21,309
輸入	634,239	35,192	1,929

## 乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	296,661	148,393	148,268
内国航路	571,115	288,252	282,863
計	867,776	436,645	431,131

### 3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な 取扱貨物
	バース名	前面 水深 (m)	延長 (m)	最大 けい船 能力 (DWT)	船 席 数	荷役機械			上 屋		
						機械名	揚力 (t)	基数	棟 数	使用 面積 (㎡)	
(公 共)											
那 覇 ふ 頭	1号 2号 3号 4号 6号	9.0 9.0 9.0 5.0 7.5	165 165 164 70 93	10,000 10,000 10,000 1,000 5,000	1 1 1 1 1				2	4,130	麦 フェリー貨物 セメント 遊覧船 鋼材
泊 ふ 頭	1号 2号 3号 4号 5号 6号 7号 8号(耐震)	6.0 6.0 6.0 6.0 4.5 4.5 6.0 9.0	105 105 105 26 75 90 105 372.5	3,000 3,000 3,000 500 500 3,000 170,000	1 1 1 1 1 1 1 1						金属製品 フェリー貨物 〃 3号岸壁と併用 フェリー貨物 〃 〃 客船
新 港 ふ 頭	1号 2号 3号 4号 5号 6号 7号 9号(耐震) 10号 12号	7.5 5.0 7.5 7.5 11.0 11.0 11.0 14.0 15.0 12.0	390 70 410 410 407 387 391 300 350 429.2	5,000 2,000 5,000 5,000 20,000 20,000 20,000 40,000 40,000 230,000	3 1 3 3 2 2 2 1 1 1	コンテナクレーン コンテナクレーン	40 40	1 2	6	20,104	取合せ品 〃 鋼材 完成自動車 その他輸送機械 完成自動車 その他輸送機械 取合せ品 〃 客船
浦 添 ふ 頭	1号 2号 3号 4号 5号 6号 7号 8号	7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 9.0	130 130 130 130 130 130 130 210	5,000 5,000 5,000 5,000 5,000 5,000 5,000 7,000	1 1 1 1 1 1 1 1				2	8,050	取合せ品 〃 〃 〃 〃 その他日用品 取合せ品 〃 〃

注) けい船施設欄の延長は、取付部を除く延長である。

保 管 施 設		
区 分	棟数	面積・容量
野積場		459,065㎡
普通倉庫		
1～3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊 地		
区 分	水深(m)	面積(㎡)
錨泊地		
大型船舶地	以上	
内	4.0～9.0	50,000
内	9.0以上	903,077
外	9.0以上	10,330,200
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港 湾 関 連 施 設	
名 称	延床面積(㎡)
那覇港那覇埠頭船客待合所	4,599
那覇港泊埠頭北岸船待合所	135
泊埠頭旅客ターミナル	677
那覇港新港埠頭船客待合所	1,231
那覇港管理組合	1,200
那覇港クルーズターミナル	4,469

臨 港 交 通 施 設	
名 称	総延長(m)
臨港道路	29,996.10
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

## 4. コンテナターミナルの概要

那覇港新港ふ頭地区

埠 頭 名	新港ふ頭9号	新港ふ頭10号
ターミナル面積	104,400㎡	104,400㎡
岸 壁 延 長	300m	350m
水 深	14m	15m
荷 役 機 械	GC合計3基	
アウトリーチ	2号機44m	3号機50m, 4号機50m
リーファープラグ	合計126口	
荷 役 方 式	ストラドルキャリア方式	ストラドルキャリア方式

## 5. マリーナ

区分 名称など	施設規模			収容能力				上下架施設 (能力、基数)	泊地水深 (m)	開設年度	関連施設	
	陸域 (㎡)	水域 (㎡)	防波堤 延長 (m)	合計 (隻分)	陸上保管		水面保管					
					ボート ヤード (隻分)	艇庫 (隻分)	浮棧橋 (隻分)					固定 棧橋 (隻分)
新港小船溜場 〒900-0001 那覇市 港町1-16-10 那覇港管理組合 管理課 ☎098-862-2328	-	-	-	79	-	-	79		-	-		
三重城小船溜場	-	-	-	94	-	-	94		-	-	ウィンチ 船具倉庫 駐車場 支援施設(シャ ワー・休憩所)	
安謝小船溜場	-	-	-	30	-	-	30		-	-	駐車場	

## 6. 緑地

区分 名称	面積(㎡) (植栽率-%)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施設	
					利用施設	附属施設
新港ふ頭中央緑地	10,026 (35)	-	修景緑地	昭和48年度	砂場1	
新港ふ頭東緑地	15,376 (80)	-	修景緑地	昭和57年度	休憩所1	
新港ふ頭北緑地	10,168 (40)	350	修景緑地	平成2年度		
那覇港若狭海浜公園	26,251 (50)	-	修景緑地	平成5年度		
浦添ふ頭南緑地(B)	8,000	-	修景緑地	平成7年度		遊歩道
浦添ふ頭南緑地(A)	41,000	-	修景緑地	平成19年度		
波の上緑地	50,776	-	海浜緑地	平成11年度	管理棟	
浦添ふ頭東緑地	20,441	-	修景緑地	平成26年度		

## 7. 基地港湾

該当なし

## 8. ポートサービス

## 港湾運送

名 称	所 在 地	電話番号	業 種					
			一 般	港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸	は し け	い か だ
沖縄港運(株)	〒900-0036 那覇市西2-1-1	098-868-4151	○					
(株)OTK	〒900-0001 那覇市港町2-16-1	098-862-0021	○					
沖縄荷役サービス(株)	〒900-0001 那覇市港町1-16-20	098-918-0006	○					
(株)第一港運	〒901-2213 浦添市西洲2-22	098-917-5477	○					
大共港運(株)	〒900-0036 那覇市西2-20-17	098-868-5345	○					
琉球港運(株)	〒901-2123 浦添市西洲2-15	098-871-3011	○					
海邦港運(株)	〒900-0001 那覇市港町2-6-18 7F	098-861-4153	○					

## 水先

水 先 区	水 先 人 会 事 務 所 所 在 地	電話番号	会員数
那覇	〒900-0036 那覇市西2-1-1 3F	098-868-1613	7

(那覇区は強制水先区)

## 曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
(株)那覇タグサービス	〒900-0036 那覇市西2-1-1 3F	098-868-4727	4,000 3,600×2	3

## 医療・厚生施設

## (港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
総合厚生	沖縄港湾労働者福祉センター	〒900-0001 那覇市港町2-12-22	098-862-2210
現場関係	那覇埠頭休憩所	〒900-0035 那覇市通堂4-22	098-861-8343
	新港埠頭休憩所	〒900-0001 那覇市港町4-13-23	098-867-4228

## (船員)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
宿泊	沖縄船員会館	〒900-0016 那覇市前島3-25-50	098-868-2775

## 9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所	〒900-0001 那覇市港町2-6-11	098-867-3710
第十一管区海上保安本部	〒900-0001 那覇市港町2-11-1(合同庁舎内)	098-867-0118
福岡出入国在留管理局那覇支局	〒900-0022 那覇市樋川1-15-15	098-832-4185
沖縄地区税関	〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1	098-996-5506
那覇検疫所	〒900-0001 那覇市港町2-11-1(合同庁舎内)	098-868-8037
那覇植物防疫事務所	〒900-0001 那覇市港町2-11-1(合同庁舎内)	098-868-0715
動物検疫所沖縄支所	〒900-0001 那覇市港町2-11-1(合同庁舎内)	098-861-4370

那霸港

